

平成27年度 交通安全対策審議会の概要

- 開催日時：平成28年3月28日（月）午前10時～
- 開催場所：栗東市役所4階 第3・4委員会室
- 出席者：松村会長、綾井副会長、森野委員、川寄委員、中嶋委員、吉仲委員、
一海委員、坂口委員、洲鎌委員、影山氏（澤田顧問代理）
野村市長、事務局（市民部生活交通課）
- 欠席者：井之口委員、藤村委員、國松委員、清水委員、米川顧問
- 傍聴者数：0名

概要

1. 開会

2. 挨拶

- ・松村会長挨拶
- ・野村市長挨拶
- ・委員自己紹介

3. 協議案件

- (1) 平成27年度交通安全対策事業報告について
- (2) 平成27年交通事故発生状況について
 - ・資料に基づき事務局より一括説明（質疑・意見については後述）
- (3) その他
 - ・来年度、栗東市交通安全計画（第10次）を策定予定である。改めて諮らせていただくことになるのでご承知いただきたい。

4. 閉会

- ・綾井副会長挨拶

主な意見、質疑応答など

- シルバーキャラバン隊の募集方法は。また、シルバーキャラバン隊にかかわらず、スクールガードなど交通立番をされている方は多くおられるが、市の方で統一されるつもりはあるのか。
- シルバーキャラバン隊については、広報への掲載、老人クラブへの推薦依頼、前年度参加者への継続確認、高齢者師範学校卒業者への案内などにより募集している。統一については、現在、それぞれの団体が交通上・防犯上の危険箇所の見守り、登下校への付き添いなど、それぞれの目的を持って取り組んでいただいているところである。今後も地域の方を中心に調整いただきながらご協力いただければと考えている。

○上砥山地先の一灯式信号がある交差点で事故が多く発生しているが、何か安全対策は考えておられるか。

→ 信号については警察の所管となるが、一灯式信号は全国的に廃止の方向で進められており、上砥山地先についても協議が整えば比較的早い時期に撤去したいと聞いている。信号撤去の際には、強調した路面表示を行うなど市も協力しながら、赤信号の点滅よりも一時停止が分かりやすいよう施工に取り組んでいる。

○パトロール隊事業の「紙芝居贈呈」とは、どこからどこへの贈呈となるのか。また、今後どのように活用されるのか。

→ 紙芝居は、パトロール隊員が考えた話に、絵をつけていただくよう栗東高校に依頼したもの。このたび完成報告をいただき、栗東高校からパトロール隊に贈呈いただいた。今後、パトロール隊が実施される市内幼稚園等での交通安全教室の際に活用される。

○高齢者の師範学校のカリキュラムについて、自転車の交通ルールは重要であるため、「自転車の安全な乗り方」をもっと早い段階で教えるべきではないか。

→ 会場のスケジュールの関係もあり、実技の指導を含めた講座は後半での開催となっている。ただし、自転車のルールについての啓発は開校式の際の講話などの機会を通じても行っている。

○栗東農協前交差点について、右折レーンがなく右折待ちの車により渋滞が起こっている状況が見られる。国道1号線バイパスの関係もあり、交通量の増加がみられているが何か対策はできるのか。

→ 該当交差点については、平成26年度に警察との協議のもと、右折矢印の路面表示により誘導を図る施工をしているが、幅員の関係から正式な右折レーンを作れないでいる。これ以上の幅員を確保しようとする、歩道を狭めるなど構造的な問題を含めた話になってくる。今後、様々な対策を要する交差点として位置づけ、関係課とも協議していきたい。

○交通誘導警備に関して、指示が曖昧であるなど余計に交通を混乱させる状況が見受けられる。何か対策いただくことはできないのか。

→ 国道の工事の際の誘導は有資格者でないといけないといった規定があるが、市道にはそれがない。警察としても道路使用許可を出す際に、適切な指導を行うよう業者に伝えることしかできない。市も工事発注者として、適切な誘導が行える誘導員を配備するよう業者に求めている。

○信号・一時停止・横断歩道の設置等の公安にかかる要望について、自治会長等から市役所を窓口にして提出しているが市での取り扱いはどのようになっているのか。市でも現場確認を行なうのか。

→ 公安にかかる要望については、交通規制要望として年に2回草津警察署から市に対して照会があるため、市で取りまとめたものを草津警察署に提出している。提出した要望については草津警察署から滋賀県警本部に上申されると伺っている。現場確認については、当然市でも行い状況把握をしている。また、公安委員会での対応が難しい際に、一次的な対処として市で可能な対策があればご相談もさせていただいている。